

ゲスト審査員

大九 明子

1968年横浜市出身。主な作品に、「恋するマドリ」「ただいま、ジャクリーン」「モンスター」「放課後ロスト / 倍音」「でーれーガールズ」など。最新作は、TUBEのMV四部作から生まれた松岡茉優主演の「渚の恋人たち」。



三澤拓哉

1987年、神奈川県出身。明治大学卒業後、日本映画大学に進学。2016年卒業。初脚本・初監督作の『3泊4日、5時の鐘』（14/製作：和エンタテインメント）はロッテルダム国際映画祭、北京国際映画祭ほか12の映画祭に招待され3つの賞を受賞した。2015年、釜山国際映画祭のアジアンフィルムアカデミーに参加。2016年には日韓共同制作のドキュメンタリー映画『Return』を監督。今年は出身地である湘南の市民とともに作り上げた短編映画『C-side town』が湘南各地で上映された。



篠原哲雄

1962年、東京生まれ。明治大学法学部卒。学生時代にプロの現場を見習いで体験。以降、助監督として森田芳光監督らに就く。一方、自主映画も手がけ、1989年に「RUNNIG HIGH」にてPFFに入選。1993年に16ミリ「草の上の仕事」が神戸国際インディペンデント映画祭にてグランプリを受賞。劇場公開を果たす。初の長編は1996年の「月とキャベツ」以降、ジャンルを問わず撮り続け、本年は野村萬斎主演の「花戦さ」が6/3から公開される。



トークゲスト

松江哲明

『あんにょんキムチ』を発表。ドキュメンタリーの手法を得意とし『童貞。をプロデュース』『あんにょん由美香』『ライブテープ』『フラッシュバックメモリーズ 3D』等がヒットを記録。TVドラマ『山田孝之の東京都北区赤羽』で山下敦弘と共に東京ドラマアワード演出賞を受賞した。同じく山下敦弘と共に手がけたTVドラマ『山田孝之のカンヌ映画祭』も好評を博し、そこから生まれた『山田孝之 3D』が6.16（土）より全国公開となる。

